

# 第1章 基本構想の策定にあたって

---

## 1 基本構想策定の背景および目的

### (1) 策定の背景

練馬区では、福祉のまちづくりの取り組みとして、昭和59年、障害者福祉都市の指定を受け進めています。近年、我が国で進んでいる少子高齢化は、練馬区でも進んでいて率は16.3%（平成15年）です。そのため、高齢者、身体障害者などの公共交通機関を利用した移動の利便性および安全性の向上を促進することが求められています。

### (2) 策定の目的

平成12年に「高齢者、障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律」（以下「交通バリアフリー法」という。）が制定され、一定規模以上の駅などを中心とした地区を、バリアフリー化のために重点的、一体的に推進する「基本構想」を策定できるようになりました。練馬区では、平成13年度に「やさしいまちづくり推進委員会」を設置し、「福祉のまちづくりの推進」を図るため、「福祉のまちづくり総合計画」の策定に向けた取り組みを進めています。

### (3) 目標年次

基本構想の目標年次は、平成22年度（2010年度）とします。なお、この構想は、必要に応じて見直すことが出来るものとします。

### (4) モデル地区について

練馬区福祉のまちづくり総合計画策定にあたって、具体的に取り組むべきモデル地区を選定することにしました。モデル地区は、関係機関が相互に連携し重点的かつ一体的な整備が図られるように、基本構想を策定します。

練馬区内22駅の乗降客数、駅周辺の公共施設数、医療福祉施設数、駅舎のバリアフリー化状況、障害者利用率、陳情・請願などの現状は下表の通りとなっています。

練馬区内駅の状況からバリアフリー取り組みの優先順位づけを行いました。8位以下は点数に開きがあるために上位7駅を選定し、重点整備地区選定優先度の判定をしました。優先度1位の中村橋駅、石神井公園駅については以下のことから判断して、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区を中村橋駅周辺としました。

- ・中村橋駅周辺においては商店会で構成している商店街活性化委員会やまちづくり協議会などがある。地元商店会において作成された、商店街活性化実施計画調査報告書の中で区立心身障害者福祉センター（以下「福祉ケアセンター」という。）を配慮した駅周辺道路のバリアフリー整備実施の提案がなされていること。
- ・中村橋駅周辺では、補助133号線や鉄道付属街路の整備、鉄道の高架下の利用などまちづくりの動きが具体化されていること。
- ・中村橋駅周辺は、都市計画マスタープラン地域別指針において「福祉のまちづくりを進める」

と位置づけていること。

表 周辺の施設等および地域要望による暫定順位

種類 駅名	路線名	乗降客 数 1	公共 施設 数 2	順 位	点 数	医療福祉 施設数 3	順 位	点 数	駅舎のバ リアー化 4	順 位	点 数	障害者利 用率 5	順 位	点 数	陳情 請願 数 6	順 位	点 数	合計 点数	暫定 優先 順位	備 考
江古田	西武池袋	38,557	3	9	2	2	4	7	×	1	10	1.7%	15	0	1	2	9	28	4	
桜台	"	14,779	3	9	2	1	8	3		8	3	2.0%	11	0				8	17	
練馬	"	75,928	11	1	10	2	4	7		8	3	8.4%	4	7				27	5	
中村橋	"	37,581	4	5	6	1	8	3		8	3	2.7%	9	2	2	1	10	24	7	
富士見台	"	21,645	1	15	0	2	4	7		8	3	1.8%	14	0				10	12	
練馬高野台	"	17,232	1	15	0	1	8	3		8	3	3.4%	8	3				9	16	
石神井公園	"	64,397	4	5	6	3	1	10	×	1	10	8.6%	3	8				34	1	
大泉学園	"	75,513	4	5	6	3	1	10		8	3	12.8%	1	10				29	3	
保谷	"	52,943	0	19	0	0	12	0		8	3	1.9%	12	0				3	19	
豊島園	西武豊島	11,227	5	4	7	0	12	0		8	3	1.4%	16	0				10	12	
上石神井	西武新宿	43,828	2	14	0	0	12	0		8	3	4.2%	6	5				8	17	
武蔵関	"	29,420	4	5	6	2	4	7	×	1	10	3.9%	7	4				27	5	
小竹向原	営団有楽町	70,368	1	15	0	0	12	0	×	1	10	0.5%	17	0				10	12	
氷川台	"	29,001	3	9	2	0	12	0	×	1	10	1.9%	12	0				12	9	
平和台	"	32,947	3	9	2	0	12	0		8	3	4.4%	5	6				11	11	
営団赤塚	"	28,177	1	15	0	0	12	0	×	1	10	0.5%	17	0				10	12	
練馬	都営大江戸	56,456	-			-			-			-								西武池袋線 に集計
豊島園	"	8,034	-			-			-			-								西武豊島線 に集計
練馬春日町	"	11,402	6	3	8	0	12	0		8	3	2.2%	10	1				12	9	
光が丘	"	47,999	11	1	10	3	1	10		8	3	9.5%	2	9				32	2	
小竹向原	西武有楽町	37,362	-			-			-			-								営団有楽町 線に集計
新桜台	"	4,774	3	9	2	1	8	3	×	1	10	0.4%	19	0				15	8	

- 1 交通バリアー法の適用については、概ね1日の乗降客数5,000人以上となっている。データは平成13年度
  - 2、3 約半径500m以内の公共施設数（同一建物は1とカウント）、医療福祉施設（福祉事務所、保健所・保健相談所、救急指定病院）
  - 4 駅舎のバリアー化（エレベーターの設置状況）
  - 5 障害者基礎調査による数値（障害者アンケートの有効回答数2,987名の利用率）
  - 6 陳情・請願の数（中村橋駅：平成13年3月23日請願22号（13年7月11日採択）平成13年6月14日陳情289号（14年12月13日採択）江古田駅：平成13年7月6日陳情293号）
- 点数について：点数は順位の第1位を10点とし、以下9、8と設定した。暫定優先順位は合計点数の多い順とした。合計点数の網かけは、点数の高い駅

重点整備地区選定優先度判定表

	駅周辺の道路等の バリアー化の未整 備状況 1	現在の地域のまちづ くりに関する組織の 有無や動向 2	駅周辺のまちづく り状況、変化 3	点数	優先度合い 4
石神井公園駅				5	1
光が丘駅	×	×	×	0	7
大泉学園駅	×			2	5
練馬駅				3	4
江古田駅				4	3
武蔵関駅		×	×	2	5
中村橋駅				5	1

- 1 駅周辺の道路等のバリアー化の未整備状況：バリアー化がなされていない度合い。未対応と判断される場合は 印を付す
- 2 現在の地域の組織の有無や動向：地域におけるまちづくり組織の有無や活動の状況。具体的な活動や計画等があれば 印を付す
- 3 駅周辺のまちづくり状況、変化：駅周辺におけるまちづくり事業の動きや進捗度合い。具体的に事業が実施されている、または、直近で予定されている場合は 印を付す
- 4 優先度合い： = 2、 = 1、 × = 0 として点数化し順位を付す

## 2 検討の進め方

### (1) 検討組織について

練馬区中村橋駅周辺交通バリアフリー基本構想策定委員会

交通事業者、交通管理者、道路管理者、国、都、策定懇談会代表を含めた14名で構成し、策定懇談会での意見を踏まえ、基本構想を検討しました。

交通事業者	西武鉄道(株)	1名
	西武バス(株)	1名
	東京都交通局(都営交通)	1名
	関東バス(株)	1名
交通管理者	練馬警察署	1名
道路管理者	東京都第四建設事務所	1名
	練馬区土木部	1名
その他	国(国土交通省関東運輸局)	1名
	東京都(都市計画局)	1名
	練馬区(保健福祉部、都市整備部)	2名
	策定懇談会代表者	3名
計		14名

練馬区中村橋駅周辺交通バリアフリー基本構想策定懇談会

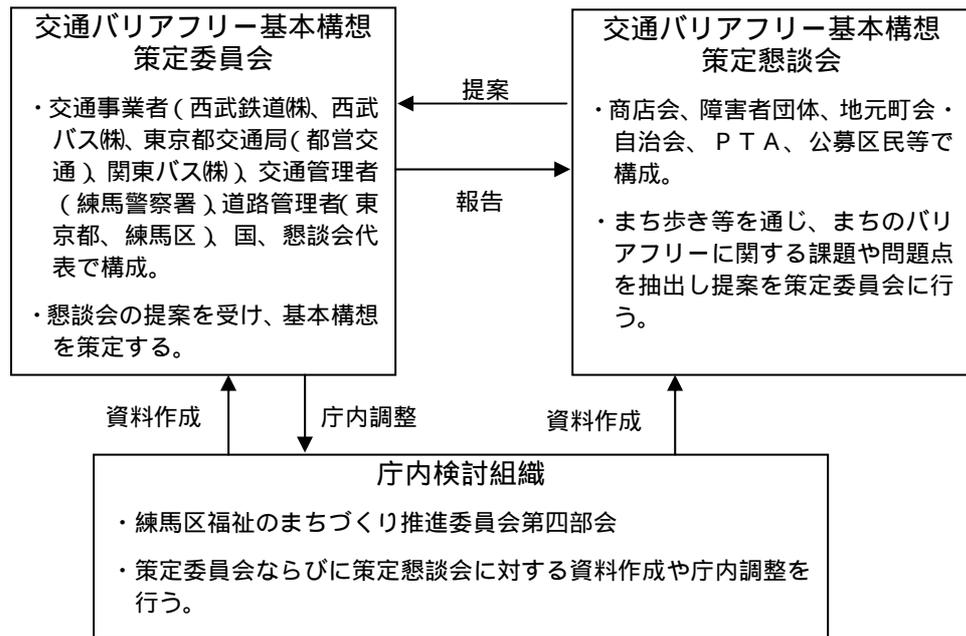
地元町会・自治会、PTA、商店会、各団体等、公募区民を含めた31名で構成し、策定委員会に対して、バリアフリーに関する問題点、課題を抽出、解決策について議論、検討し、提案を行いました。

地元町会・自治会	向山町会、貫井町会、中村西町会、中村東町会	4名
PTA	練馬第三小学校、貫井中学校	2名
商店会	サンツ中村橋商店街振興組合、中杉通り光栄会、中杉通り親交会、中村西和会、中村橋東通り商工会、中村橋駅前通り貫商会	8名
団体等	保育園父母の会、中村熟年クラブ松寿会、松みどり会、練馬障害児を持つ親の会、練馬区身体障害者福祉協会、練馬区視覚障害者福祉協会	6名
公募区民		11名
合計		31名

庁内検討組織

庁内に設置している練馬区福祉のまちづくり第四部会が、策定委員会および策定懇談会に対する資料作成および庁内調整を行ってきました。

図 検討体制



(2) 検討フロー

